

●調査レポート

埼玉県内企業の2010年度春季賃上げ見込み調査

この調査は、埼玉県内企業を対象に実施した「春季賃上げ見込み」についてのアンケート調査結果をまとめたものである。

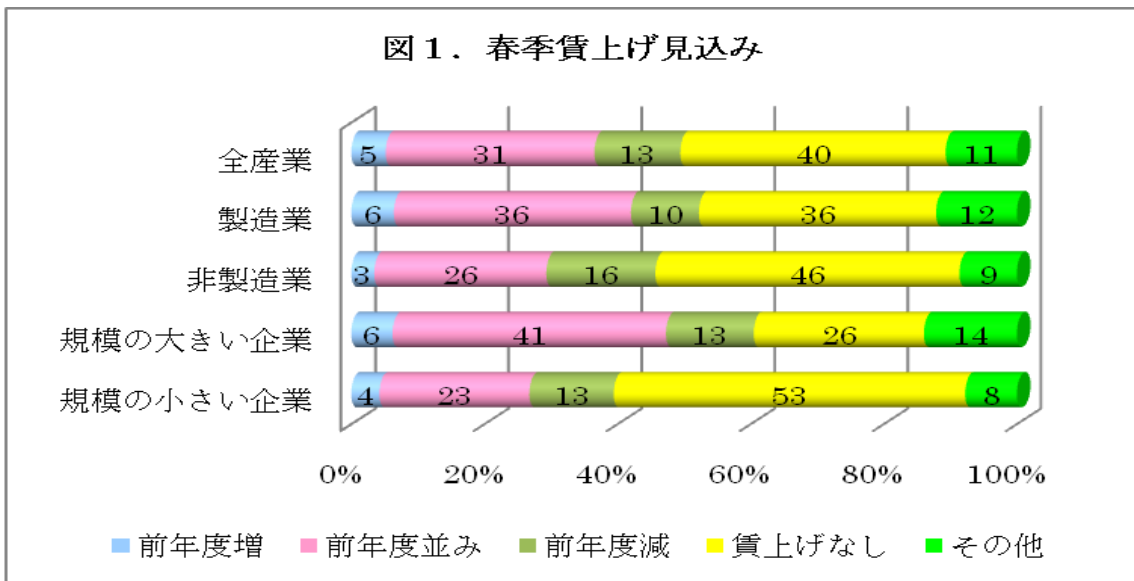
調査概要

- (1) 調査時点：2010年2月上旬
- (2) 調査対象：埼玉県内企業976社
- (3) 回答企業：278社（回収率28.5%） うち製造業160社、非製造業118社
- (4) 調査方法：郵送によるアンケート記入方式

1. 賃上げ見込み額

～全産業で4割の企業が賃上げなし～

春季賃上げ見込みによると、全産業で最も多かったのが「賃上げなし」との回答は全体の4割で、次いで「前年度並み」が31%だった。前年度調査に比べると、「賃上げなし」の40%は変わらないが、「前年度並み」は9%増えて今年の賃上げの厳しさを物語っている。ただ、「前年度増」との回答が同4%増えて5%あり、業績の改善がみられた企業もあった。業種別でみると、製造業では「前年度並み」と「賃上げなし」が同率の36%に対し、非製造業では「賃上げなし」の回答が10%上回っている。また、「前年度並み」との回答も非製造業の方が6%多く、今春の賃上げは製造業よりも非製造業の方がよりシビアな状



況のようだ。企業規模別では、規模の大きい企業で「前年度並みに」した企業が4割を超した半面、規模の小さい企業では2割強にとどまり、半数以上の企業が賃上げを見送り、前年度調査と同様に今回の調査でも企業規模の差が表れている。

## 2. 賃上げ額及び賃上げ率の見込み

～今春の賃上げ額平均は1,722円、賃上げ率は0.99%に～

県内企業の2010年度(平成22年度)春季賃上げ見込み額(定昇込み)は全産業で1,722円、賃上げ率は0.99%(単純平均)だった。2009年度の実績額に比べると、金額で659円、率で0.24%下回り、労働者にとっては厳しい春となっている。

業種別では金額に大きな差はないが、率では非製造業よりも製造業の方が低く1%を割った。

企業規模別では、やはり、規模の大きい企業での賃上げ見込み額の方が高く、規模の小さい企業に比べ196円上回っている。

2007年夏の米国サブプライムローン問題以降、世界経済が悪化してきた中で県内企業にもその影響が波及、2008年度の春季賃上げから平均額、賃上げ率はともに下降の一途を辿っている。

表1. 春季賃上げ見込み(金額・率)と21年度実績				
区分	22年度見込み額	22年度見込率(%)	21年度実績額	21年度実績率(%)
全産業	1,722	0.99	2,381	1.23
製造業	1,704	0.92	2,335	1.11
非製造業	1,754	1.11	2,451	1.39
規模の大きい企業	1,837	1.09	2,487	1.36
規模の小さい企業	1,641	0.91	2,293	1.11